

かまくら パートナーズ



鎌倉市市民活動センター 広報紙 第100号
令和3年9月発行(季刊)

発行 / 編集：鎌倉市市民活動センター <https://npo-kamakura.com/>

鎌倉パートナーズは
おかげさまで創刊 100 号を迎えることができました。
1996 年 11 月に「市民の活動」を伝える
手作りの広報紙としてスタートし、
読んで支えてくださる皆様とともに号数を重ねました。
私たちはこれからも伝え続けてまいります。



"Thank you everyone!!"

ともに歩んで100号!



記念号にあたって、いくつかの登録団体からこれまでの取り組み、今後の展望、本紙へのコメントなどをお寄せいただきました。

聞かせて!

- ① 団体が取り組んできたこと
- ② 5年後にどうなっていたいか?
- ③ 未来の鎌倉へのメッセージ
- ④ パートナーズへのコメント

●シェアハート鎌倉

- ① 3.11 東日本大震災をきっかけに、遠くから継続できる支援ということで、東北及び被災地を応援する様々な活動をしている。今年で10年目の活動。
- ② 東北応援活動を縦軸に、共に活動する人に障害者や、引きこもりの方の就労支援を横軸に、誰も取りこぼさない社会を目指す。
- ③ 鎌倉が、誰も取りこぼさないSDGsな市であるために、市民団体もそれぞれできることを実現していきたい。
- ④ コロナ禍の中、大変なことも多いと思いますが、市民団体をつなぐ大切な役目、こんな時だからこそ、できることもあると思います。光輝いていてくれることを願います♪



●スイートポテトの会

- ① 高齢化の進む今泉台で高齢者の生活支援（野菜やパンの一括代行購入や草取りなどのお困りごと対応）を行っています。毎週金曜日に商店街の一角で、近隣農家から有機、減農薬野菜を届ける「ベジクラブ」マルシェ活動を開催し、地域住民の交流の場を提供しています。
- ② 高齢になっても「住み慣れた自宅で暮らし続ける」ことが出来るような町を作りたい。そのために、高齢者を地域で支える仕組みで実現していきます。その基本は”地域の人々のつながり”さらにそれを「町の魅力」として創り出していく団体になって行きたいと考えています。



●鎌倉ガーディアンズ

- ① 市民や来訪者が事件や事故に巻き込まれず、楽しい思い出を胸に無事帰宅できるよう安心・安全な催事の支援活動。
- ② 現在は全国唯一のイベント型防犯団体ですが、日本中に鎌倉ガーディアンズのような組織ができること。
- ③ 山や海、美しい景観美が後世にもつづきますように。
- ④ 鎌倉で市民活動を知る唯一の広報紙です。地道に活動する団体のため、市民活動を知らない市民のためにも、頑張ってください!



これからも一緒に！

本紙では、インタビューを交えて団体の姿や活動の様子などを紹介してきました。
こうしてみなさまと、次の一步に向かえることを感謝します。

●いろいろなカタチ鎌倉

- ①発達が多様でユニークな子どもたちの理解啓発を目的に「いろいろなカタチ新聞」の発行や、セミナーの開催、イベント出展、ワークショップの開催などを行っています。
- ②若いメンバーを増やしてパワーアップしている。
- ③いろいろなカタチの子どもたちが、その子らしく過ごせる町でありますように。
- ④いつも団体の活動を支えていただき感謝しています。また、パートナーズ表紙の西畑さんの描く挿絵も、毎号楽しみにしています！



●子ども大学かまくら

- ①NPOセンターにお世話になって10年、「子ども大学かまくら」は創設期から運営指導やファンドを受けてここまで続けて来られました。市内小学校の高学年生を対象に学校とは一味違う学びの機会を「はてな学、生きかた学、ふるさと学」を柱に提供してきました。
- ②子供達にもこのコロナ禍を、大局的、本質的な学びへの目を開いてもらうための転機として欲しいと考えています。
鎌倉市民活動を支える仲間と共に歩んで行く事を願いつつ…。



●北鎌倉台峰緑地保全会

- ①定期的に北鎌倉の台峰緑地の手入れ作業を行い緑豊かな環境の保全を行っています。それ以外にも自然や伝統をいかした様々な行事を行い多世代の交流の場をつくりだしています。
- ②幼児から80代までが和気あいあいと交流しながらの手入れ作業です。5年後もさらに多くの方と楽しく、気軽に、自由に交流しながら活動を継続してたいです。その中で自然に対する知識や作業の知恵が先輩方から若者へ継承される環境がより整っているよう願っています。
- ③鎌倉は多種多様な人たちが自分の手でおもしろいこと、大切な場をつくりだす気概をもった町だと思います。お互いに刺激あってより豊かに、より自由になっていけると思っています。未来の鎌倉にであった時にどんな喜び、発見があるか今から楽しみです。
- ④多くの団体をゆるやかにつなげる要としてこれからもよろしくお願ひします。頼りにしています、そして期待しています。



明るい未来へ！



●まるまーる

- ①在住外国人・海外ルーツの方も一緒に子育てをしよう！「子育てから多文化共生」を目指して、子育てや日本独特の文化や制度に関する情報発信、ママ・家族での交流イベント等を行っています。
- ②海外ルーツの方が何か困っていることがある…「じゃあ、まるまーるに相談しよう！」「まるまーると、何か楽しいことを計画しよう！」というように、気楽に・信頼して・広く頼ってもらえる団体になりたいです。
- ③市民の素敵な力で、鎌倉が今よりもさらにキラキラしていますように。
- ④市内のさまざまな活動・歴史を学び、いつもワクワクしています。これからもすばらしい情報発信、楽しみにしています！



●鎌倉地方自治研究センター

- ①私たちは、地方自治・住民自治の立場に立ち、調査、理論活動を展開し、あわせて市民の自己啓発を互いに支援し合うため、定例懇話会・学習会・ニュースの発行などの活動をしています。
- ②会員は、自治体職員（OB）、弁護士、学者、議員（OB）など、幅広い構成となっていますが、高齢化が進んでおり、若い世代の会員を増やし、バランスの取れた年齢構成で、今まで積み上げてきた知識が引き継がれ、元気に活動できる会をめざします。



●西鎌倉CONNECT

- ①鎌倉のウエストサイド（西側）を中心に、地域に住む住民同士で立ち上げた「誰もが気軽に参加し、地域にとってちょっと良いことを、面白がりながら取り組むコミュニティ」です。現在の活動はオンライン中心ですが、イベント情報はFacebookやtwitter、地域情報発信は、instagram「西コネ MAG」、そして日替わりDJが自由気ままに話す stand. fm でローカルラジオ「にしかまFM」などを展開しています。
- ②「西鎌倉 CONNECT」に関わると「今よりちょっと暮らしが楽しくなる」というコミュニティになりたいと思っています。その上で、そのコミュニティに関わる「人」と「IT」の力を合わせて、地域のお困りごとなどを無理なく楽しんで解決しつつ、地域で経済が回るような仕組みが作れたらと考えています。
- ③鎌倉の良いところである、「歴史」、「自然」を大事にしつつ、一人ひとりが「ありたい未来」を描き、それぞれがその未来を尊重しつつ、その実現に向けて協力し合いながら、持続可能な「まちづくり」に取り組む鎌倉であり続けたいと思います。
- ④鎌倉は全国でも市民団体が多いと聞いており、その活動を陰ながら支えて頂いているのは鎌倉市市民活動センターだと思っています。感謝をしつつ、今後も活気ある町づくりや市民団体と一緒に盛り上げて行けたらと思います。どうぞ宜しくお願いします。

和をつなぐ！！



●日本語COSMOS

- ①1994年、14名で発足以来、鎌倉とその周辺の外国籍住民の方々への「日本語学習」を27年間継続中。これまでに世界各国約60か国、延べ650名が週2回の日本語クラスに在籍。コロナ禍の現在、対面授業が難しいので、Zoomでオンライン授業中です。オンラインと対面の各々のメリットを活かして、将来は併用することになる可能性大です。
- ②5年後の夢は、もちろん「拠点」を持つこと。そこに行けばいつでも日本語クラスの仲間や先生達に会える「陽だまりのような居場所」が持てたらと願います。



●ぐるっぷ未来

- ①未来に生きる子ども達のために！を目的に活動している。例) 安定ヨウ素剤の自主配布・上映会・講演会等
- ②生きていたら、子ども達の為に少しでも良い国にしたいと、やはり獅子奮迅していると思う。(メンバーの平均年齢が高いため、どんな団体と言うより、今の状態をキープしたい)
- ③「文化都市・鎌倉」に相応しい都市であってほしいと、深く願う。
- ④「パートナーズ」を読んで他団体の活動を知り、励まされたり、感心したり、いつも情報を有難うございます！



●山崎・谷戸の会

- ①鎌倉中央公園内で山崎の谷戸の原風景と生態系を守る活動をしています。地元農文化を継承した手作業を大切にしています。
- ②鎌倉の貴重な自然に親しみ、守る活動をいろいろな世代の人に楽しんでもらいたいです。
- ③身近な自然を守ることを通して身近な保全活動が育まれていきますように。
- ④市民活動で生まれる知恵や工夫を団体の連携でより活かされるように協力、参加をしていきたいと思ひます。



パートナーズの歩み



おなじみのタイトルロゴです！1号から5号までは毎月発行でした。



1996年11月発行 第1号
市民活動センターの設立準備段階で、鎌倉市市民活動支援検討委員会（鎌倉市役所市民生活課）としての発行です。



1998年3月発行 NPOセンターのオープンをお伝える第9号です。



2016年12月号(第81号)から全面カラー印刷となりました。リレートークがスタートしました。



*挿絵はこれまで表紙を彩ってくれた作品の一部です。 *今回100号の題字は正会員で書道家の水谷紀明さんの作品です。

御礼と今後に向けて

ありがとうございます、沢山のの人に支えられてパートナーズは今日に至ったのですね、市民活動そのものがそうであるように。サイトやFacebookやLINEと同じく利用登録団体を結びつけるコミュニケーション手段。市民活動センターがある限りなくなる。特徴は、紙の媒体であること、書かれた言葉と写真・イラストによる媒体であること、すぐには消えてなくなる。その特性を生かして、理性や知性・感性に働きかける記事、みんなで一緒に考えたいような記事もちりばめていきたい。写真・イラスト・レイアウトで読みやすくして。

石川 勝己（認定NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議理事長）

市民活動の現場

創刊当初、あの狭いNPOセンター鎌倉のワーキングスペースの机いっぱい紙を広げ、ハサミやノリで切り貼り作業が恒例でした。口も手も大忙しで、女性パワー全開の熱気を感じ、諸姉先輩のエネルギーに圧倒されました。「部活の活動室みたい」とある人が一言。熱気あふれる、まさに“市民活動の現場”でした。時代は移り、今はパソコンでレイアウト、でも団体への取材や、打ち合わせには何とんでも人間力が必須です。3か月毎の発送作業も、山のようなパートナーズを積み上げて作業をしましたが、日頃全員ではなかなか会えないスタッフの交流の場でした。パートナーズの題字の右側にさりげなく描かれた小鳥や花々の挿絵が毎号楽しみでもありました。200号めざして頑張ってください。

榎本 春子（鎌倉市市民活動センター運営会議正会員、元スタッフ）

創刊100号に寄せてメッセージ

PR や会員募集に協力

100号おめでとうございます。

NPOセンター、登録団体の皆様には、日頃から情報提供や取材協力など、タウンニュースの紙面づくりにさまざまな形で関わっていただき感謝しております。本紙では、作秋から登録団体の皆様を紹介するコーナーを不定期に掲載しています。

市内に4万部超を発行しているので、PRや会員募集等にご活用いただければ幸いです。

コーナーへのご応募、情報提供お待ちしております。

タウンニュース鎌倉編集室

活動に振りを!

100号、おめでとうございます。四半世紀、長い歳月です。NPOセンターを取り巻く外部環境、内部環境はともに大きく変化しました。

「パートナーズ」は、市民活動団体とその活動を支援するセンターとを結ぶ情報紙。いま、市民活動は多様化し、情報に多面的切り口が不可欠です。

何か提案をとのこと。「パートナーズ」作成に、登録団体の方々を交えた企画編集委員会を設けたらどうでしょう。記事に深さ、幅広さが加わることを期待します。もう一点、団体の紹介時、その活動がいかに地元社会の改善に関わっているか、細やかでいい、具体的に触れること。

読み手が親近感を抱けば手助けや参加に繋がると思います。いかがでしょうか。

出川 克己

(鎌倉市市民活動センター運営会議正会員)



市民が繋がる広報紙

鎌倉パートナーズ100号の発行おめでとうございます。

地域に根ざした市民活動の紹介など、長期間製作に力を注がれていらっしゃることに敬意を表します。2018年10月より、鎌倉FM「鎌倉シーサイドステーション」にて、個性溢れる貴登録団体の紹介をさせて頂いている関係で、私も第91号に掲載をして頂きました。

鎌倉パートナーズはゆっくり目を通すことで、デザイン、内容共に、作り手の温かみや世代問わず地域の繋がりを感ぜられるところが素晴らしいです。また、様々な発見が出来ることにありがたみを感じています。これからも市民が繋がる広報紙として、ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

鎌倉FMパーソナリティ 山崎 綾子

運営会議たよりの棲み分けに苦勞

研修部会、協働事業推進部会、広報部会に関わってきましたが、鎌倉パートナーズ100号への投稿となれば、2009年から発行した「運営会議たより」は外せません。

創刊に向けての第一歩は表紙のロゴ作成…楽しかったのはそこまでだったかな。広報部会では、指定管理者で中間支援組織の発行物であること、市民活動情報紙「鎌倉パートナーズ」との棲み分けをどうするか等が議論の焦点でした。

目指すは、読み物として成立する紙面。広告料ももらいたい。当時は、NPOと無償ボランティアの概念や、行政との協働の対等性など、疑問や知りたいことが次々にあって、発行に携わることで大いに学ばせてもらいました。

一木 千恵子

(鎌倉市市民活動センター運営会議正会員)

センターからのお知らせ

新規登録団体のご紹介 (令和3年8月末日現在)

学生団体 s4S

こんにちは！学生団体 s4S です！

私たちは「SDGs を広く広めよう」をモットーにし、皆さんに SDGs を知ってもらうためにこの学生団体を立ち上げました！ 主に難民問題や、LGBTQIA 問題などを中心に SDGs の認知度をあげる活動をします。高校生の底力を見せつけます！ よろしくお祈りします！

<https://www.instagram.com/s4s.202101/>

aprendo (アプレンド)

学生が誰もが簡単に見られる映画という媒体を通して学び、そこから自分の考えを作っていく、他者理解と自分の人生を変える一本の映画を見つけるきっかけ作りを目的としています。映画には大きな力があります。人に感動を与え、心を動かすことができます。心が動いた人たちは、やがて行動を変えていきます。だからこそ「自分の人生を変える一本の映画」をテーマに映画上映会を開催します。

karen.jb.love731@gmail.com

*10月から週に1回鎌倉センターの会議室をフリースペースにします。詳しくはチラシをご覧ください！

100号記念企画 プレゼントコーナー 10/31(日)締切



<鎌倉検定予想問題> (祝 100号記念プレゼント！クイズに答えて賞品をゲット！)

Q1：百人一首に採られた鎌倉ゆかりの和歌と言えば、3代将軍にて天才歌人、源実朝の「世の中は 常にもがもな 渚(なぎさ) 漕ぐ 海人(あま)の小舟(をぶね)の綱手(つなで) かなしも」です。この歌は、当たり前風景が実は一番平和であることを詠んだ歌です。(コロナ禍で実に沁みます…)

さて、この歌、鎌倉のある場所で歌碑になっていますが、その場所はどこでしょう？

Q2：「お祝い号」ということで、めでたい紅白！の問題です。

春になると本堂の前に紅白咲き分けの枝垂れ桃「源平枝垂れ」の花が咲くお寺とは？

Q3：平成11年に決まった「鎌倉景観百選」の中で、唯一、「眺め」などの見えるものではなく、「音」にまつわるものがありますが、それは何でしょう？

鎌倉検定予想問題に全問正解された方の中から抽選で30名様にシェアハート鎌倉の東北復興支援物産をプレゼントいたします！

【応募方法】

- ①氏名(団体名) ②住所 ③電話番号 ④鎌倉検定予想問題の答え
 - ⑤100号のご感想 ⑥NPOセンターへのご意見ご要望をご記入頂き
- メール、FAX、QRコード、お葉書のいずれかでお申込下さい。

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

賞品はお選び頂けませんので予めご了承下さい。

皆様のご応募お待ちしております。10/31 締切です！



編集後記：案を出し合い、話し合い、行きつ戻りつ、ようやくパートナーズ100号が完成しました。創刊から100号まで25年間、どれほど多くの方がかかわったことかと思いをはせます。作る側だけでなく、読んでくださる方、配って下さる方、パートナーズに触れてくださった皆様一人ひとりがパートナーです。ここで改めて感謝しつつ、新たなページへ向かいます。(T.A)

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL: 0467-60-4555
FAX: 0467-61-3928
E-mail: npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX: 0467-42-0345
E-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

利用登録団体数：321 団体

令和3年9月1日現在

※ 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)に変更があった場合は、速やかにお知らせください。